

『緑園に輝くーみんなで創る

平成23年度
↓
平成32年度

文教・安心・交流のまち 多久』を描く

多久市では、市政運営の最も基本となる『総合計画』を平成22年12月に策定しました。今回は、策定までの背景や計画の役割、目指す将来像などを紹介します。市民のみなさんの参画と協働のもと「誇れるふるさと・多久」の創造に向け、ともに取り組みを進めていきましょう。

なぜ新しい計画が必要？

多久市では、平成13年3月に策定した第3次多久市総合計画（計画期間 平成13年度～平成22年度）の基本目標『住みたい美しいまち 多久』をもとに、楽しく学ぶ「孔子の里」、豊かな緑と水の里、栄える県央のまちの3つを将来像に掲げ、多久駅周辺土地区画整理事業や公共下水道事業、市民大学の創設、グリーンツーリズムなど各種施策に取り組んできました。

その一方、地方分権・地域主権改革の推進に向けた本格的な制度改革の進展をはじめ、地球規模での深刻な環境悪化、住民の安心・安全への意識の高まり、情報化・国際化の一層の進展や全国的に急速に進行している少子高齢化社会への対応など、社会・経済情勢は大きく変化しています。本市では、第3次総合計画の期間満了を機に、このような内外の動向に的確に対応し、次世代に誇りを持つてつないでいく、自立した多久市を市民とともに築いていくため、新たに「第4次多久市総合計画」を策定しました。

総合計画の役割は？

『総合計画』は、本市のすべての分野における行財政運営の基本となる地方自治体の最上位計画で、計画的な行政運営を進めるための指針、まちづくりの方向性を示すものとなります。さらに今回策定した計画は、次の役割を持たせています。

役割① 市民参画のまちづくりを進めるための共通目標

今後のまちづくりの方向性と必要な施策をわかりやすく示し、市民と



■策定にあわせて小中学生に募集した多久市のイメージポスターコンクール作品は「計画書」に掲載

▶特選の
黒石千智さん
(右・当時東部中2年)と
柴田一樹さん
(下・当時東部小4年)
の作品



行政が協働してまちづくりに取り組むための共通目標となるものです。

役割② 地域経営を進めるための行財政運営の指針

地方分権・地域主権改革の時代にふさわしい地域経営の確立に向けて、さまざまな施策や事業を総合的かつ計画的に推進するための行財政運営の総合指針となるものです。

役割③ 広域行政に対する連携の基礎

国や県、広域連合等の広域的な行政に対して、本計画実現に向けて必要な施策や事業を調整・反映させていく連携の基礎となるものです。

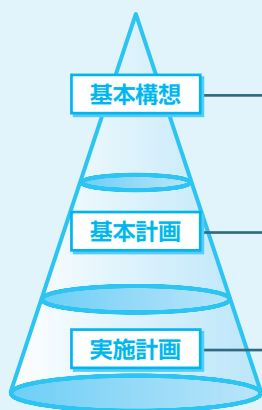
総合計画の構成と

目標年度は？

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3部で構成。計画期間は、平成23年度を初年度に、平成32年度を目標年度としています。

また、基本計画には施策毎に成果指標を定めています。その結果指標の値を定期的に点検し、計画の達成度を確認できる仕組みを導入しています。

●第4次多久市総合計画の構成と期間●



基本構想 → 目指す将来像とそれを実現するための基本方針や施策の大綱を示すものです。目標年度は平成32年度です。

基本計画 → 基本構想に基づき、その実現のために必要な基本的施策、成果指標、協働の指針などを体系的に示すものです。今回は、平成27年度までの前期5年の計画を策定し、後期計画は平成27年度に策定します。

実施計画 → 基本計画に示した施策を具体的に実施する事業を定めるもので、事業の優先順位や具体的な事業内容、財源等を示し、予算編成の指針とします。毎年、向こう3年間分の計画について、評価、見直しを行います。